

農大 復耕 支援隊

【世田谷・厚木】



- (1)はじめに・・・ p.2
- (2)これまでの活動内容 p.3
- (3)岩手紹介 p.13
- (4)これからの活動内容 p.17
- (5)支援先の方との交流 p.18

【キーワード】

- ▶ **ボランティア**
- ▶ **岩手**
- ▶ 防災
- ▶ YouTube
- ▶ 運営をやりたい
- ▶ 活動の幅を広げたい

—活動人数—

4年生：1人

3年生：11人

2年生：3人

個性豊かなメンバー多数！

1. はじめに・・・

皆さんこんにちは！

ボランティアサークルの農大復耕支援隊、通称支援隊です。

農を通じた復興支援をしようということから、“**耕**”の文字が使われています。

農大らしいですね。

さて今回は、

☆これまでの活動とこれからの活動

☆支援先の方の紹介

☆私たちが訪れている岩手の名所・食べ物紹介

などをお伝えできればと思っております！

目次を見て気になったページに飛ぶもよし、

最初からじっくり読むもよし。

お好きなようにお読みください♪

同時に、岩手の方からのビデオメッセージもございますので、

気になる方はぜひご視聴ください！

興味をもって開いて下さった皆さまに感謝いたします◎

それでは、お楽しみくださいませ。

農大復耕支援隊

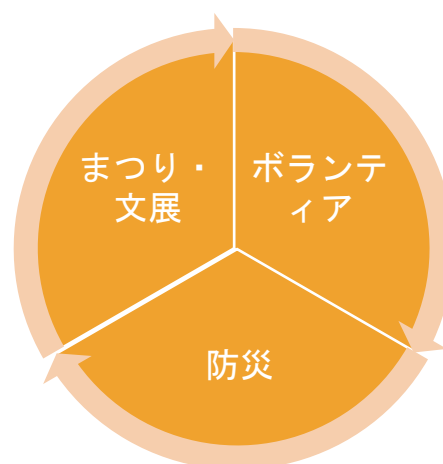
大河原 麗

2. これまでの活動

活動は大きく分けて

- ① ボランティアツアー
- ② 防災
- ③ まつり・文展

の3つに分けられます。



① ボランティアツアー

東日本大震災で被災された方と共に復興を目指しています。

2011年のがれきの撤去をはじめ、徐々に“復旧”から“復興”に変わっていきました。

「被災前よりもよりよい町にしたい」

という現地の方の想いを叶えるべくお手伝いをさせていただいております。

近年では、釜石市にて行われる予定だったラグビーワールドカップに向けて**避難道の整備**や震災後建てられた小中学校の**法面（のりめん）の整備**などを行いました。

豪雨の影響により一試合中止となってしまいましたが、同じ目標に一丸となって向か突き進む力を肌で感じました。

また、毎年ゴールデンウィークには40人規模の公募ボランティアツアーを行っています。ボランティアに参加していただくと共に、震災について皆様に考えていただく機会を提供いたします。 ※2021年の開催は未定

私たちは東京と岩手をつなぐ団体を目指します。

② 防災

被災された方の「同じことは繰り返してはいけない」という想いを心に、
1人1人が《自分も被災するかもしれない》と感じてもらうために活動しています。

“もしこの瞬間に震度7の地震が起きたら、あなたはどうしますか？”

という問いに、皆さんならなんと答えるでしょうか。

机の下に隠れる・避難所へ行くなどが挙がると思います。

ですが、

もし、隠れる前に足がタンスの下敷きになって歩けなくなってしまったら？

もし、海水浴場で大震災を経験したら？

もし、このコロナ禍で、身一つで避難所へ行くことになったら？

災害が起きてから避難の仕方を携帯で調べていては、逃げ遅れてしまいます。

はたして私たちは行動を起こせるのでしょうか。

私は、災害から身を守るための術を普段から考えておく大切さを

農大復耕支援隊で学びました。

少しまじめなお話となってしまいました😊

防災って大切なのだなと少しでも感じていただけたら嬉しいです！

③まつり・文展

3年連続最優良・優良賞受賞。



↑ 会室でも大人気のもこちゃん。

受賞した団体は賞状と共にぬいぐるみをいただけます。

農大が誇る収穫祭では、**3年連続**最優良・優良賞受賞！！

東北の郷土料理である「ひつつみ汁」と三陸の「サンマのみりんぼし」を販売しております。収穫祭では岩手の魅力を伝えます。

また、初の試みとなる文化学術展では、1次審査通過を果たし賞状を頂くことができました。

支援隊の歴史や津波シミュレーション装置の実演、そして防災グッズの紹介等をさせていただきました。

農大復耕支援隊の活動

私たち農大復耕支援隊は2011年3月11日に発生した東日本大震災において継続的な復興支援活動を行っている有志団体です。

津波で剥がれてしまった鳥居の再塗装や畑の整備など、現地の方の声に耳を傾けながら、岩手県大槌町・釜石市を中心として活動しています。東京では6月末に農大通りで行われる経堂祭りや11月に農大で行われる収穫祭で岩手県の特産品や郷土料理のひっつみ汁を販売しています。



釜石・大槌
ガイドブック

～例年の年間スケジュール表～

	岩手ツアー	まつり	防災	その他
4月				新歓活動
5月	大規模ツアー			ツアー参加者で再集結
6月				
7月		経堂まつり		
8月				夏合宿
9月	岩手へ			
10月		ひっつみ汁試作会		
11月	岩手へ	収穫祭（模擬店・文展）	農防災	
12月				VISION 合宿
1月				
2月				
3月	事前調査		防災マルシェ	

◆大規模ツアー◆



◆大規模ツアー◆

※コロナウイルスの影響により2020年度は中止となりました

●GW恒例、大型
ボランティアツアー！

●東日本大震災で
被害に遭われた方の
お手伝いをします

農大生 はもちろん

他大生・社会人・高校生

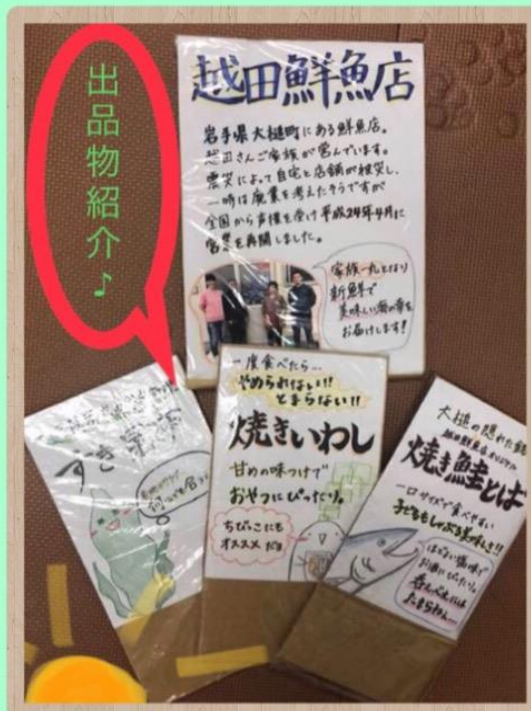
ボランティアしたい人
集まれー!!

◆夏合宿◆



◆ 経堂まつり ◆

※コロナウイルスの影響により2020年度は未定です



◆ 経堂まつり ◆

◎ 三陸の美味しい海の幸
をお届け 🙌

◎ なんと毎年買いに来て
下さる方も！

大好きな岩手を
知ってほしい...！

地域の方と
つながりたい...！

◎ 岩手の魅力伝えます！

◆小規模ツアー◆

10人くらいで岩手に行ってきます☆



3. 岩手紹介

釜石市

①釜石駅



買い物から
宿泊まで

周辺には新鮮な魚が並ぶサン・フィッシュ釜石や岩手土産を豊富に取り揃えるシープラザ釜石、エスペラント語で「民話」を表すホテルフォルクロロロなど見どころが沢山です。

駅の正面には「魚と鉄とラグビーの街」の名前の由来となった新日鉄製鉄所があります。

住所:釜石市鈴子町22



大槌町

釜石市

釜石市

②釜石大観音

写真映え！



釜石の海と街を見下ろす高台に立つ、魚藍観音像。観音様の内部は13階に分かれており、その胎内には三十三観音や七福神が祀られています。

11・12階には展望台が設けられ、高さ48.5mからの眺めが楽しめます。

住所:釜石市鶴住居大平町3-9-1

釜石市

③釜石魚河岸テラス



地域の
憩いの
場

2019年度4月にグランドオープン！
2階飲食店では、広々とした自然に工業港が溶け込んだ釜石湾の景色を一望しながら地元の食材を使った料理が楽しめます。

住所:釜石市魚河岸3-3

大槌町

④ 文化交流センター おしゃっち



復興情報発信
の拠点

2018年8月にオープン。
図書館や震災伝承展示があり、大槌町の復興のシンボル。
「おしゃっち」という愛称は、大槌の中心エリアを指す地名「御社地」にちなんで名付けられたものです。住民の憩いの場としてにぎわいを見せています。

住所:大槌町末広町2-2

大槌町

⑤ 蓬莱島

ひよっこり
ひょうたん島の
モデル



大槌町のシンボルとして震災前から地元の方に愛されてきました。

目印となっていた灯台や鳥居など津波の被害を受けたが、弁天様がまつられている建物だけは消失しませんでした。

そのことから蓬莱島は復興のシンボルとなり、一番初めに復興されました。

住所:大槌町赤浜2-4

大槌町

⑥ 城山公園



復興の窓

大槌町を一望できる景勝地としても親しまれ、復興の様子が定点観測されています。

設置してある希望の灯りは阪神淡路大震災で被害を受けた方々を励まそうと全国から集められたものを分灯したものです。

住所:大槌町小槌第32地割

大槌町

⑦ 大槌駅

らーめん
がオススメ



2019年3月に三陸リアス線の駅として営業が再開されました。

その形は蓬莱島を模しており、至るところにひよっこりひょうたん島のキャラクターがいます。駅舎内で販売されている「鮭とばらーめん」は絶品です^^*

住所:大槌町本町1

岩手の食べ物

甲子柿（かっしがき）



釜石市甲子町（かっしちょう）の名産！
渋柿を柿室と呼ばれる密閉空間で燻して脱渋したもの。

普通の柿と比べてトマトのような赤みで、
とても柔らかく食感はまるでゼリー！
甘みが強いだけでなく、栄養価も非常に
高いこの地域だけの特別な柿です。

関東ではあまり見かけない
「ほや」は三陸の名産品。
貝のような見た目ですが、
貝ではなく動物に近い脊索動物
門の一種に分類されます。
お刺身にして、日本酒と共にどうぞ。
（お酒は二十歳になってから）





ひつまみ汁は、ゴボウやニンジン、大根、鶏肉、そして小麦粉を水で練り薄く伸ばしたものを入れ、醤油で味付けをした岩手の郷土料理！手で引きちぎることを方言で「ひつまむ」ということから、ひつまみ汁と名づけられました。ひつまんだ小麦粉のモチモチ食感と、具材のうまみが染み出したスープは絶品です！

他にも・・・

- わんこそば
- 盛岡冷麺
- ウニ

などなど・・・

おいしい食べ物がいっぱい！！

4. これからの活動

今年度はコロナウイルスの影響によって、岩手を訪れる活動ができない状況です。また、先行きもまだ不透明であるため、状況次第ではありますが、2021年度末までオンラインを中心に活動していきたいと考えています。

しかし、このような状況だからこそオンライン上で支援先の方々とコミュニケーションをとることはできないのかと考え、**支援先の方々とオンラインでの交流会**を企画しています。

～ツアー～

例年行っているツアーをオンライン上で行う企画として、**オンラインツアーの開催**を考えています。例年のツアーと同様に、数日に分けて様々な支援先の方々とお話ししたり、岩手の食べ物を取り寄せて一緒に食べる会を開いたりといった内容を考えています。

～防災～

防災の活動については、**非常食を食べる会**の開催や隊員の防災活動および防災の豆知識の発信、支援隊の**YouTubeチャンネルでの投稿**などの活動を行うことで、多くの方に防災への関心を持っていただけてだけでなく、自分たちも防災の知識を深められるような活動を行っていきます。

～2021年の活動～

- オンラインツアー開催！
- 震災当時を語り継ごう！
- 岩手を食で応援しよう！
- 防災に力を入れよう！

5. 支援先の方との交流

これまでの9年間、私たち農大復耕支援隊は岩手を訪れ、復旧・復興を現地の方たちと見てきました。

津波を目の当たりにした方々の話を語り継ぐのも、私たちの役目だと思っています。

今年度の11月には、オンライン交流会と称して

釜石の語り部さんで有名な浜辺の料理宿 宝来館のおかみ岩崎昭子さん・
廣田一樹さんと zoom で交流会を行いました。

そのときにいただいたメッセージをビデオのほうに載せてあるので、是非ご覧ください。



最後までお読みいただきありがとうございました。

農大生・地域住民の皆さまと活動できる日を
楽しみにしております。